こすど公民館報
発行所 小須戸町公民館
発行人 間野良知
発行日 毎月15日
一部15円
印刷所 昭栄堂印刷所

高校誘置運動へ 積極的な前進を

――町教育懇談会――

去る一月二十日、町役場において恒例の連合PTA主催、新春教育懇談会が開催され、多くの問題点について、論議がかわされました。

参会者は、町当局から町長・助役・議会正副総文委員長・教育委員・教育長　社教委員長・公民館長・主催者側からは小・中学校及び幼稚園の校長・教頭・正副PTA会長で総員三十余名、いずれも直接教育に関係をもつ、有力な方々でありました。

「小須戸町教育の振興をはかるには、どのように考え、どうしなければならないか」というテーマをかかげて、吉田吉平連P会長司会のもとに三時間にわたる熱心な懇談が行われました。

その主な話題及び要点をあげますと

◇わが町に高等学校を誘置する問題について

五十嵐町長から、条件としてその用地一万五千坪、建設諸経費の二割、概算で約一〇億円の地元負担を覚悟しなければならない。他にもいろいろと問題を含むが、現時勢から考えても既にその時期に達しているのではないか。要は全町民の盛り上る要望の声如何であるとの心強い説明と示唆がありました。

これに対して是非実現を期したいと全員の意見は一致し、連Pを中心とした強固な組織をつくり今後の具体的運動を展開すべきであるとの話し合いがまとまりました。

◇教育関係諸施設の問題について

岡田教育長より昭和五十二年頃までの見通しについて、次のような説明がありました。

社会教育センター内部設備の充実

町民総合グランドの建設

中学校グランド照明灯の増設

町民プールの新設

中学グランド排水路の完成

武道館の増改築

中学校プレハブ教室の解消

◇週休二日制時代を考えての余暇利用の問題

社会教育面の受入れ態勢が重要である。第一に人の問題であるが、学校や民間からも協力して頂いて、よい指導者を確保しなければならない。

学童、生徒だけでなく全町民を対象として考えねばならない。

施設面では公民館、グランド、体育館、児童遊園地等の外に学校開放についても積極的な検討が必要である。

◇教育目標に関する問題

各学校の教育目標の外に、町将来のビジョンにそった小須戸町教育目標を設定する必要がある。

重要な問題だけに、相当な時間をかけ、全町民が何等かの形で参加できるような民主的方法で進めてほしい。

◇青少年の健全育成について

行政と社会教育が一体となって、更に積極的に取りくんでいかねばならない。青少年問題協議会の中に強力な下部組織をつくって、実践補導を強化する要がある。

以上極めて抽象的な報告となりましたが、実際の内容はきめ細かな、しかも終始熱っぽい意見の交換であり、名実ともに意義深い懇談会でありました。

（文責編集部）

写真コンテスト「節分」　矢代田　青木達男氏

にらめっこ

まきぐち　みつえ

だるまさん
だるまさん
にらめっこしましょう
わらうとまけよ
アップップ――

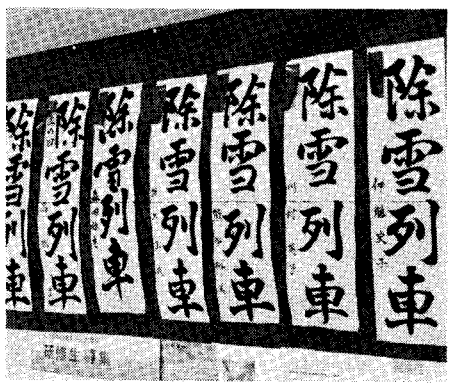
一生けんめい
小さなホッペをふくらませ
じっとみつめる目

笑いをこらえる時間も短かく
すぐに顔がほころんでくる
負けたことなど気にもせず
恥ずかしそうに逃げていく
うしろ姿――

次回テーマは、自由です。

長寿大学案内

二月後半
一七日（月）書道ク
一九日（水）民舞ク
二三月（日）全体学習日
小須戸町の歴史を聴く会
講師　柏大治さん
二六日（水）生活ク
二八日（金）園芸ク
三月前半
一日（土）囲碁ク
三日（日）書道ク
五日（水）民舞ク
一二日（水）家庭ク
一五日（土）囲碁ク



校内書初大会（中学校）

青少年の非行化とその対策

補導関係者会議で検討

家の子どもに限って…と、いずれの親も信じきっていることと思うが、決して決して安心はできない。最近の青少年の不良化は増加一途で、わが町でも相当数が警察その他の補導をうけている。

飲酒・喫煙・万引き・窃盗・シンナー遊び・男女不純交遊等、誠に空恐しい感がする。

去る一月六日、役場で補導関係者が集まり、この問題に対処するため検討打合せを行い、次のことを決定した。

1、街頭補導の反省から
・具体的な目的をもって出動する
・補導記録を残す
・問題の地をマークする
・万引き等については直接商店から事情を聞かせてもらう
・お祭り等における街頭児にも注意を注ぐ

2、今後の対策
・補導委員体制の強化
増員と組織化
・一般父兄へのPR
広報紙等の活用
集会等を利用する
・家庭教育の振興
家庭教育学級、婦人学級、PTA等
・健全なるグループの育成
青年団・青年学級・こども会等

分館だより

新保分館

◎婦人会料理講習

一月二十六日午前九時半より、新保公会堂で開催、料理実習の後一同で楽しく会食しました。

講師は町の栄養料理教室に出ている左記の方々でした。

簑和キイ　高山タイ
丸山フサ　川瀬ヨシ子
（敬称略）

◎家庭問題講演会

一月二十六日午後一時半より公会堂で開催。

講師に町社会教育指導員の萱森朝夫先生をお迎えし、その高いご識見と豊富なご経験を通しての家庭・社会の諸問題について、感銘深いお話しをお聞きしました。

また、特にご臨席頂きました北島警察所長さんより、青少年不良化防止について、多くの事例をあげてのお話しをお聞きし、本当によい勉強をさせて頂きました。

三種混合予防接種中止

2月26日及び3月26日実施予定の三種混合予防接種（ジフテリア・百日ゼキ破傷風）を厚生省の指示により中止いたします。

運動会・文化祭の時期を決定

公民館の新年度計画立案に先だち、運動会・文化祭の二大行事について関係諸団体の代表による特別小委員を結成。

この小委員会は青年・婦人・老人の代表と、体育協会・学校・分館及び本館の関係者から構成され、さる一月二十日に公民館で会議を行った。

これは去年の運動会が雨で中止になったことと今後の文化祭行事は、社会教育センターを中心としたものにしていくため開催時期や内容を再検討しようというもの。

まず運動会については雨の心配がないところから八月説、また文化祭と時期が接しているため六月ではどうかという声が出たが、やはりスポーツ熱のもっとも盛り上がる十月ということに決定。

今後も十月の第一日曜日として、雨天の場合は町民体育館で行うこととする。

文化祭については、町民の参加を第一に考え、文化の日を中心に社教センターで「町民展」を開催。小・中学校の児童作品展はそのままとし、目玉商品となっている園芸クラブの展示即売会を一週間くらいに延長する。

また文化祭の一環として県下柔剣道大会をはじめ駅伝・野球・卓球・バレーボール等のスポーツ大会を集中的に行うこととする。

以上のような点を公民館運営審議委員会に提示し、了承された。

交通災害共済の募集が始まります

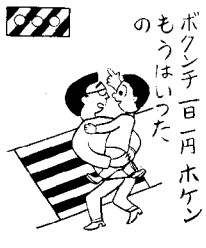
ことしもまた一日一円の交通災害共済の募集がはじまります。

現在加入している人もはじめて加入しようとする人も、昭和五十年三月三十一日までに申込書に会費三百五十円を添えて、加入の手続きをしてください。

◎加入方法

ちかく、各地区の婦人会及び嘱託員の皆さんが加入募集のため各家庭を訪問する予定になっていますから、その節はご家族全員で加入されるようおすすめいたします。

一人ひとりが交通事故にあわないよう注意することはもちろんですが、万一の事故にそなえて、みんなで加入いたしましょう。



続小須戸風土記

了専寺の棟札（一）

柏大治

浄土真宗東本願寺派了専寺は、昭和三十九年六月十六日の新潟地震で本堂がかしがり、その後本堂修理のさい屋根裏から棟札が二枚発見され、文献的にみても貴重な資料ですから紹介します。

一枚目の棟札の表に次のように記されています

岡衆女神
奉上棟大元尊神
五帝竜神　工匠村松
小黒李右衛門軍命　花押
脇工匠村松
小黒常右衛門軍郷
岡衆女神は
ミズハメノカミ、水神であります。五帝竜神は仏法守護の八大竜王のことでありますが、ここでは五帝は東南西北中を意味していると思います。それぞれの方角で竜が守護するということです。竜が水をふいて寺を護ったから、会津戦争の大火や明治の大火にも寺が焼けないとの伝説は、こんなところから流布されたものと思います。

その裏に

寺門永久守護棟梁門人
文政十亥十月十五日
（一八二七）（姓名は寺社の場合は許される）
高野伊右衛門　中山喜三
右衛門　吉沢幸左衛門
小黒兼吉　前田運治　松
坂宇右衛門　岡尻竹蔵
岡常蔵　中村権吉　白瀬
石蔵　伊藤熊八　高野民
蔵　熊倉源治　田代定吉
当町大工（小スド町）
会田彦内　高橋勝太郎
高橋仁蔵　藤田富八　笠
原伊三八　佐藤忠内　中
村長吉　友坂四良吉　小
林竹蔵　高橋太吉　高橋
奥蔵　高橋久太
子孫もおりましょう。
このような人達が協力しています。

のみ彫（彫刻）
村松　関川文之助
白根　丸山幾七
白根　丸山幾松
田上　小柳関蔵
小挽　西島　太左衛門
世話方

二枚目の棟札の表に

経曰
諸有衆生　聞其名号
信心歓喜　乃至一念
至心廻向　願生彼国
即得往生　住不退転
唯除五逆　誹謗正法

浄土真宗の三部経、正しくいえば大無量寿経の阿弥陀如来誓願の、四十八願中の生命ともいわれる第十八願文が書かれています。次に寺族の方々のことが記されています。

当世第十世現住
白根町　佐藤昌右衛門
方より入寺行年五十七歳
恵賢
当山第九世　坊守
諦賢実子行年五十三歳
里そ
恵賢、惣領三十二歳而早
世　浄賢
浄賢弟地中正蓮寺へ入寺
賢了
賢了弟当寺後住　徴賢
徴賢弟再建中悉事世話
北曜
北曜第円明
円明第　慈賢
このように記入されています。

北曜は学僧で覚路津村笠井六蔵の四男、のち東本願寺の嗣講、長生院智現和上などに学求　平沢村の福田義導等と共に寺院版　海岸和上語類などにも名をつらねています

慈賢は画を良くして雲涯、または釈一空その人です。

（続く）

今年も花いっぱいの町づくり運動を

この一年間の花いっぱい町づくり運動のあとをふり返り併せてこの運動の推進力としてご尽力いただいた町園芸クラブの活動状況をお知らせします。

〃冬来りなば、春遠からじ〃立春もすぎ、日一日と日足も長くなり春めいてきました。県下一を誇るわが町の花木市場にはボケを始め、サクラ草など春を呼ぶさまざまな花がいっぱい。県内外からのおおぜいの業者の方々が、春を求めて毎週来町しています。名実ともに花の町小須戸の姿です。

◎町園芸クラブの活動

発足以来四年、会員一六〇余名うち女子会員三十名。活動内容は盆栽部菊花部・朝顔部などで各部毎に数回の実技講習会県外視察として大宮盆栽村、安行の花木村の視察や、鹿瀬盆栽クラブとの交歓会なども新しい活動の一つでした。その他、展示即売会や草花の苗作りなど多面的な内容でした。その経費も二十三万円にも達しました。なお本年度は新に小盆栽・楽焼の鉢づくり・山野草と花草づくり講習会が計画されています。

◎花と緑を育てる会

昨年春、発足したばかりの会でありますが、関係の皆さんのご協力により、一年目としましては予期以上の成果を上げられ感謝致しております。

主な活動を上げますと矢代田駅のサッキ・松の植栽をはじめ盆栽棚の備えつけ、矢代田小学校の花だん造成・老人クラブによる憩いの家の花だん造りや花菖蒲園造り、町保育園幼稚園の花造り等々で、それぞれ特色のある活動でした。今年も更に継続されることを期待しています。

ことに竜玄部落では、舗装完成記念として婦人会員が中心となって、部落挙って花いっぱい運動を展開し、さしもの長い村道の一側を美しく花で飾った快挙でした。これこそ花いっぱい運動のほんとうの姿であろうかと高く評価されています。

本年度は更に商店街の花いっぱい運動や、こども遊園地・神社境内の美化活動、また各事業所などでも同じような運動が計画されています。

なお、老人クラブや長寿大学等における生産活動の推進も、県の補助と相まって進められようとしておりますし、青年学級生の皆さんも老人憩いの家等の各施設に花木を植える計画を練っています。

このようにして、各種団体や事業所単位での運動機運がたかまってきておりますが、やはり全町各戸の庭やベランダ、室内等に四季の草花が、いつも咲いていることが、理想的ではないかと思います。

本年度も、「花と緑の小須戸町」をキャッチフレーズにして、町の花いっぱい運動が、より一層の町民運動として力強く展開されますよう、皆さんの積極的なご参加を願って止みません。

今、あなたのまわりに花がありますか？

電気安全アラカルト

・安全器は屋内配線のおまわりさん

家庭用の安全器には普通一五Aヒューズがとり付けられております。

電気器具などが故障しショートしたり、電気を使いすぎて一五A以上の電流が流れると、その熱によってヒューズが切れて電流を断ち、屋内配線や電気器具の安全を守る役目をはたします。

針金など絶対に使わないで、規定の一五Aヒューズを使ってください。

安全器はヒューズのいらない「ノーヒューズブレーカー」にとり替えておくと便利です。

春を待つ青年団・青年学級

会員の減少により、活動が鈍っていた青年組織が、最近少しづつ活発化してきた。

当町には、この他にも青少年の団体組織があるが、特に青年団・青年学級の胎動がめざましく、青年団は海外研修や県外交流会、各種研修・講習会を行ってリーダー育成に努めている。

青年学級では青年の山の会を結成し、自然を学ぶなど内容が充実、豊富になってきた。

また青年団では、三月八日から三日間、県外研修会に出発する。青年学級では、継続学習を立案版画や彫刻による自作学習を行う。

特に注目する点は、これら二つの団体が、お互いに協力し合って活動を行っていることである。

社会教育センター完成の五十年度には、両者合同の「若人の祭典」が計画されている。

彼らは雪がとけ、若人の集う館の完成を心はずませて待っている。

—◇—◇—◇—

さなぎ

お願い

他人の自転車に無断で乗らないで!!

矢代田駅の向かって左側に、勤労協自転車置場があります。

これは、毎日駅まで自転車で通う通勤者や高校生のために小須戸町勤労協が、町当局の委託を受けて運営しているもので、料金も極めて低料(年五〇〇円)の上、駅の真近ということで利用の皆さんから喜ばれております。

近い将来、無料化にして、もっと利用し易いように、施設の拡張計画もあります。

ところが困ったことにここに置いてある自転車を、無断で乗って行ってしまう心ない人がいて、持ち主を始め管理の関係者を泣かせております。

「夜おそく駅に着いて、バスもないし、ちょっと拝借……」ということらしく、後日、町裏に捨てられてあるのを発見します。

盗むという意識までいかない悪質ないたずらでしょうか。

しかし、ここで、いたずら犯人に訴えたいことは、あなたにとって「一寸拝借」のつもりでも罪は罪です。

盗まれた当人にとっては大きな損害です。古い自転車でも無くなれば新しく買わなければならないのです。

更にそれよりも大きなものは、それが高校生だった場合、その純真な心に「人間不信…」という大きなキズを残すことになるのです。

そして最後にあなた自身、胸の奥の良心に対する罪悪感、うしろめたさが何時までも残るのではないでしょうか。

どうかお願い!!、駅の自転車に、いたずらをしないでください。

(こまっている人より)

じょうずな電話の使い方

小須戸電報電話局

次のことに気をつけて上手に電話を使いましょう

一、電話番号を確かめていつもかける番号はメモしておくと便利です

二、ダイヤルは指止めまで正確に。

ムリに戻したりするとまちがってかかったり故障の原因になります

三、自分から先に名のるかけた方も一〇〇ですが」と前おきしてから用件に入ると能率的。

四、相手が話し中の場合二～三分待ってから。すぐにかけても、ほとんどかかりません。

五、受話器は静かにかけましょう。

「ガチャン!」と乱暴にかけると、相手に不快な感じを与えます。

私のたからもの (一)

矢代田　轡田奈賀雄

私の家は代々神社に奉仕する神主で、三百年以上続いております。だが「たからもの」として披露できるようなものは持っておりません。問野館長さんから「何かあるだろうから、書いてもらいたい」とたっての依頼がありましたので、恥をしのんで筆をとらせていただきます。

私の家に係る神道裁許の証であります。これは亡父が晩年表具して大切に保存しております。明暦・元禄・天明の三書あります。その内容はいづれも同じものですが、村の名が変っております。

明暦年間のものは八代堂村、天明時代になりますと現在と同じ矢代田村となっており、時代の変遷がうかがわれます。

神道裁許之状如件

明暦未乙年六月廿八日

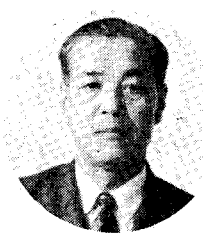
神道管領長上卜部朝臣兼起印

「神支参勤」は「神事参勤」と読むものと解されます

明暦は三年続きましたが、元年は今から三百二十年前で、徳川四代将軍家綱の時代であります。その頃の八代堂村の八幡宮、諏訪大明神は現在どの社が該当するかは詳らかではありませんが、二社あったことは確実であります。

私の家は私で十三代であります。私はこの書を一年に一回は必ず床の間に掛けて昔の面影を想像し現在の神社、宮司、氏子社会の在り方等について冥想にふけることを楽しみにしております。

この書は現在私にとっては何物にもかえがたい尊いたからものです。



矢代田と呼称するようになったのは、何時の時代か私はわかりません。

小須戸風土記の大家柏大治さんなどはご存じかと思います。

明暦時代のものをご披露致しますと

越後国蒲原郡菅名庄金津保八代堂村八幡宮諏方大明神両社之祠宮轡田上総守勝定恒例之神支参勤之時可着風折烏帽子狩衣者

≪たのしかった室内ゲーム大会≫

——親と子の体力づくり——

一月二十六日、町民体育館では時ならない楽しそうな笑い声や、うた声があがっていました。

中、小学校、幼稚園からまだあどけない未就学の子どもたち、お父さんお母さん・青年学級のお兄さんたちにノッポの公民館長さんまで一緒になっての室内ゲームが次から次へと展開し、笑いと歓声の渦に巻きこまれたのです。

本年第一回の大会で参会者は約七十名位でしたが、子どもたち中心の仲よしムードが満ち満ちたほんとうに楽しい催しでありました。

今後こうした行事をちょいちょいと持ちたいと思っていますから、全町皆さんから進んでご参加くださるようお願いいたします。

(主管　青年学級)

参加した一お母さんのはなし

こんなに楽しい会なのに、集まりが少いのが残念でした。もっと町民にPRして、体育館がいっぱいになるようになったら、ほんとにすばらしいと思います。

お年よりにも呼びかけて、お孫さんと一緒にゲームを楽しむなど、ほほえましいことじゃないでしょうか。

こどもクイズ

さあ！考えて？

つぎの問題の□の中に答えを書いて公民館へ。答え・住所・氏名・学年クラスをはっきり書いてハガキで送って下さい。正解者の中から五名の方に賞品をお贈りします。

一問　天神様は□□□□を祭っています。

二問　おひな様は□人官女に□人ばやし。

三問　スキー発祥地は新潟県の□□市です

前号の正解は

一問　万　二問　なすび　三問　年

抽選の結果、次の方々へ賞品をお贈りしました。

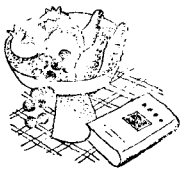
矢代田　保科美佳子　二年　ウデコキ

能登ゆたか〃　雁巻内山徹〃

天ケ沢　大野健太郎〃

矢代田　坂井久美子　五年

購入図書



◇落語　矢野誠一
◇恋人たち　立原正秋
◇賄食物誌　吉行淳之介
◇女であることの十八章　草柳大蔵
◇小説・灘高校　小中陽太郎
◇歴史の証言　大久保伝蔵
◇レベッカ　デュ・モーリア
◇太陽はいつも雲の上に　三浦綾子・光世
◇パリ・東京井戸端会議　岸恵子・泰早穂子
◇愛すれどいのち哀しく　草薙実・紀子
◇燃えた打った走った　長島茂雄
◇妻たちの午後　中山あい子
◇追伸・七円の唄　永六輔
◇人斬り斑平　柴田錬三郎
◇続・コルデイッツ大脱走　R・リード
◇調子っぱずれの唄　笹沢佐保
◇夢を売る商人　曽野綾子

著書のご寄贈

元中学校長　坂井富三郎先生

「ちいさなおはなし」

これは、先生が青年教師時代からの自作童詩・童謡をまとめられたもので、新潟日報・読売新聞の文芸批評欄でも高く評価紹介された格調たかい作品集であります。

公民館へも一冊ご寄贈いただきました。厚くお礼申し上げます。この作品集の中から一編の童詩をご紹介します。

水たまり

道のまん中の
水たまり
雨がこさえた
水たまり
字イかき虫が
およいでた
銀の字かきかき
およいでた
お月さんだまって
それ見てた

記事訂正とお詫び

館報一月十五日号一面の連名年頭賀詞のうち、左記役職の人名が違っておりましたので、訂正とともに謹んでおわびを申しあげます。

矢代田駅長　阪井善吾
連P会長　吉田平吉

一月句会報

小須戸町俳句同好会

シグナルの黄の点滅や夜の寒波　虚秋
友逝けり夕べ群れ啼く寒鴉　良遊
浮き見つむ釣人の背に降るみぞれ　林哉
冬帽の奥たしかめて言葉かけ　芳人
金婚に二ッ重ねた初雑煮　松山
厨の灯夜明けもしづか寒卵　趣楼
髪を梳く鏡にこもる雪明り　静花
毛糸玉引寄せ何か憂えいる　律歩
ゆく年の句帳余白を残しけり　樫男

春を待つ日々

出雲町　我妻清作

春の来る日を心待つ雪荒れる夕べの室に
灯りともして